

クニヒロ卓球 ~9月号~ 

 本間新聞 VOL.59

皆様こんにちは。台風が多く、天気の悪い日が続きますが、元気に営業しております。さて、オリンピックも終り、日本代表選手の活躍により、卓球界も大盛り上がりですね。オリンピックを明けて、ストレートへのコース取りがとて効果的に見えました。又、先日皆様に参加されている、Kumi卓ダブル・シングル大会をみに行きました。その時も皆様のコース取りがとてお気に入りになりました。今月号では、ストレートへの打球方法を書いてみました。是非ご覧になって下さい。わからない点がありましたら、本間までお気軽にお聞き下さい。

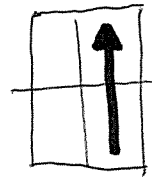
リオ五輪

~女子~
丁寧 (中国) **金** 馬龍 (中国)
李曉霞 (中国) **銀** 張繼科 (中国)
キム・ソニイ (北朝鮮) **銅** 水谷隼 (日本)

男子団体銀メダル
女子団体銅メダル
水谷隼 銅メダル



フォアストレートへの攻撃



自分のフォア側から、真つすぐ狙って打つことです。

今回は、フォアストレートへの攻撃についてです。まず、フォアストレートとは、どこ？。基本的には構えに時には、ラケットはクロス方向に向いている為、クロスにボールを打ちやすいコースだけに、相手にまてれている事が多いので、ブロックやカウンターを組われましよう可能性が高いです。打ちにくいコースですが、ストレートへの攻撃というのは、思ったより楽に点数を取れる事が多いので、是非覚えたいと思います。それは、簡単なポイントです。

- ① ラケット面を外へ開く。
エンドラインよりも外を向く位、ラケットを開く。この時、自分のバック面のラバーが自分の方向を向いているかチェック。
- ② 体の向き。
フォアクロスに狙って打球する時よりも、すこし体を開くと打ちやすい。この時、おへそがネットのサポート位置に向いていると良い。
- ③ 肘を体の近くにおく。
肘が体から離れましよう。ラケット面が安定せず、ボールに力が伝えられないので、多量にキックにはなるが、肘の位置をチェック。